

柳瀬地区における新たな交通手段の導入について

1 目的

所沢市では、平成 10 年度より市内循環バス『ところバス』を運行しておりますが、コースの見直しを重ねた結果、所要時間が長くなり、便数を増やせない等の課題があります。

そこで、ところバスの利用者が少ないコースを見直し、見直した地域には、地域との協働のもと新たな交通手段としてワゴンタイプの車両（ところワゴン）の導入を検討します。

これにより、ところバスは循環に要する時間が短縮され、増便が可能となり、ところワゴンはより地域の需要に応じた路線を設定することで、公共交通の利便性の向上を図ります。

2 柳瀬地区での見直しの概要

ところバス東路線（柳瀬循環コース）を短縮して便数を増やし※、ところワゴン 2 路線を新たに組み込みます。これまでの路線を網羅しつつ、新たなルートを組み込むことで、柳瀬地区の広範囲に公共交通を整備します。

※ところバスは令和 5 年度以降に変更予定です。

3 ところワゴンの概要

ところワゴンは、ワゴンタイプの小型車両を使用して、バスと同じように決まったルート・停留所・時刻で運行します。バスよりも、乗車可能人数が少なくなりますが、バスでは通れない狭い道も通ることができます。

○導入時期：令和 4 年 4 月

○運 行：タクシー事業者

○運行費用：運行経費から収入を差し引いた差額分を市が補填します。

○乗車人数：8 名（通常座席 7 名＋車いす席 1 名）

○路 線：2 路線（資料 1-2 参照）

○便 数：午前 7 時から午後 7 時の間で 1 時間に 1 本程度（10～12 便程度）

○運 賃：一般運賃 200 円（一律）

※ところバスの一般運賃は 100～270 円（距離制）です。

※その他の運賃割引設定はところバスと同じです。

4 導入の効果

ところワゴンを導入することで、公共交通の利便性が向上し、外出機会の増加にもつながります。

①地域に根ざした公共交通の充実

地域住民が利用する病院やスーパー、公共施設などの主要施設を経由することで、より地域に根ざした公共交通網を整備することができます。また、1ルートあたりの所要時間を約1時間以内とし、駅に直結させることで、鉄道や他のバス路線への接続がしやすくなり、利便性が向上します。

②外出機会の増加

アンケート調査では「ところワゴンが運行されることにより、あなたの外出頻度は増えると思いますか」の質問に対し、回答者のうち68%の人が「増えると思う」と回答しました。

選択肢	回答者数	割合
増えると思う	397	68.0%
変わらない	171	29.3%
分からない	16	2.7%
合計	584	100%

5 今後のスケジュール

7月	地域公共交通協議会を開催 →ところワゴンの導入にあたり、運行方法等について諮問・答申
10月	運行事業者を選定
11月	地域公共交通協議会を開催 →柳瀬地区ところワゴン運行方法等について最終決定
12月～	関東運輸局へ事業許可申請
令和4年 4月	実証運行開始